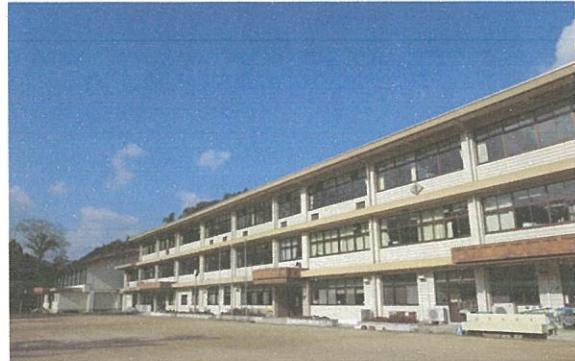


## 地域力を活用した児童の「生きる力の育成」

周南市立須磨小学校 PTA

## 1 学校地域の概要

PTA会長 : 福本直樹  
学 校 長 : 原田貴司  
児 童 数 : 11名  
家 庭 数 : 7世帯  
教 職 員 数 : 6名  
所 在 地 : 〒745-0401  
周南市須万2581



TEL 0834-86-2210

FAX 0834-86-2211

E-mail sumasjm@shunan.ed.jp

## (1) 地域の特色

本校の位置する須金地区は、中国山地の谷間を走る錦川の上流にあり、周南市北部の山間地に位置する。平地は少なく、生活圏は標高170mから350mにわたる。地域は、戸数約240戸、人口約400人で、過疎化が進行している。児童数は近年著しく減少はしたもの、一昨年度より増加傾向にある。地域の人々の愛郷心は旺盛で、地域のシンボルとして学校に寄せる期待は大きい。高齢化が進む中ではあるが、学校の教育活動に対しての理解と協力は絶大なものがある。



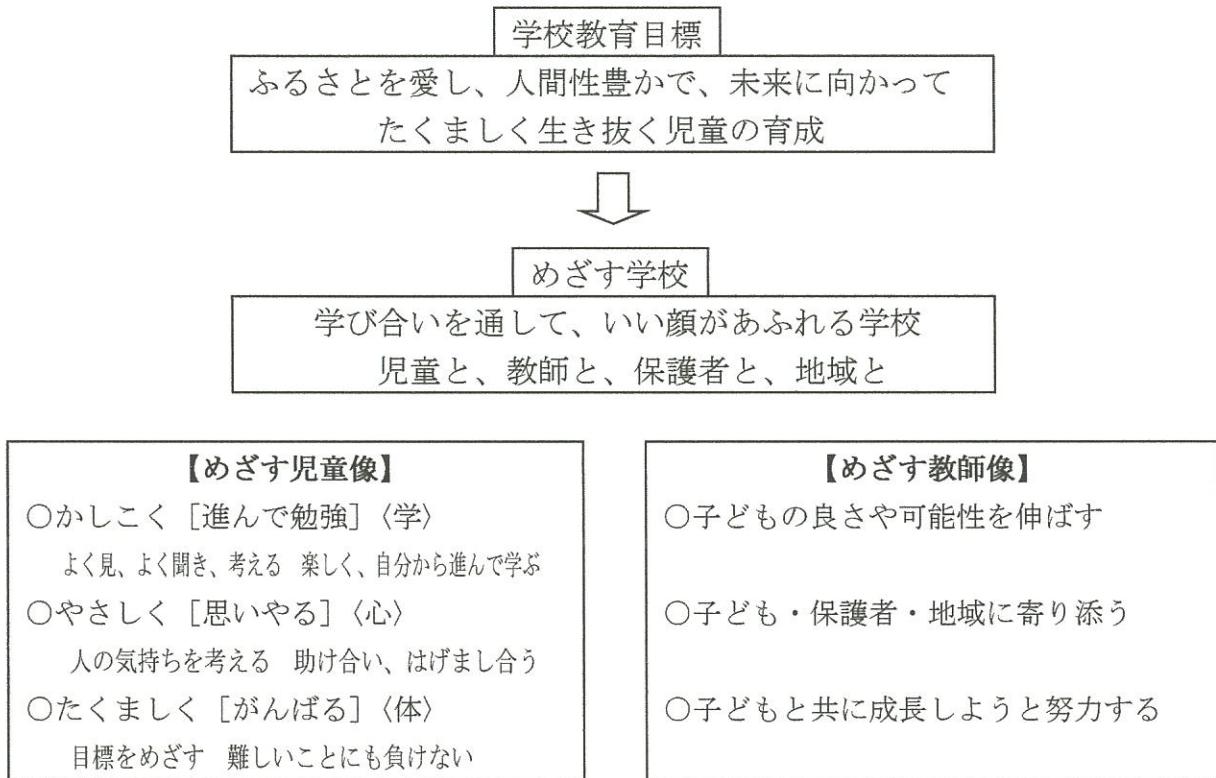
冬によく見られる須金地区の雲海

地域の特色としては、和紙づくりの伝統工芸、なし・ぶどうの地場産業の振興により、ふるさと創生に取り組んでいる。また、各種団体による地域おこしも精力的に行われている。

## (2) 学校の特色

明治8年、須万小学校として創立し、明治20年には学制改革により村立須磨尋常小学校と改称される。平成2年には中学校が併設され、須磨小学校・須金中学校併設校として新たに出発した。平成に入って児童が激減し、平成21年には3名となつたが、28年度は11名まで回復している。

### (3) 学校経営基本構想



#### 《学校経営の方針》

- 「学校の地域性や、小規模校の特性を生かし、一人ひとりを大切にする教育の推進」
- 個々の児童にしっかりと目を向け、児童の思いに寄り添いながら、個に応じた教育活動を展開する。
  - 児童が主体的・能動的に学ぶ授業を行い、児童の確かな学びを保障する。
  - 道徳教育の研修を深め、児童の基礎的な道徳性を確立する。
  - 地域との結びつきを生かした体験活動を重視し、計画的に展開する。
  - 家庭教育への支援を積極的に行い、教育の充実を図る。
  - 幼保小中高の連携を深め、なめらかな接続を確立する。

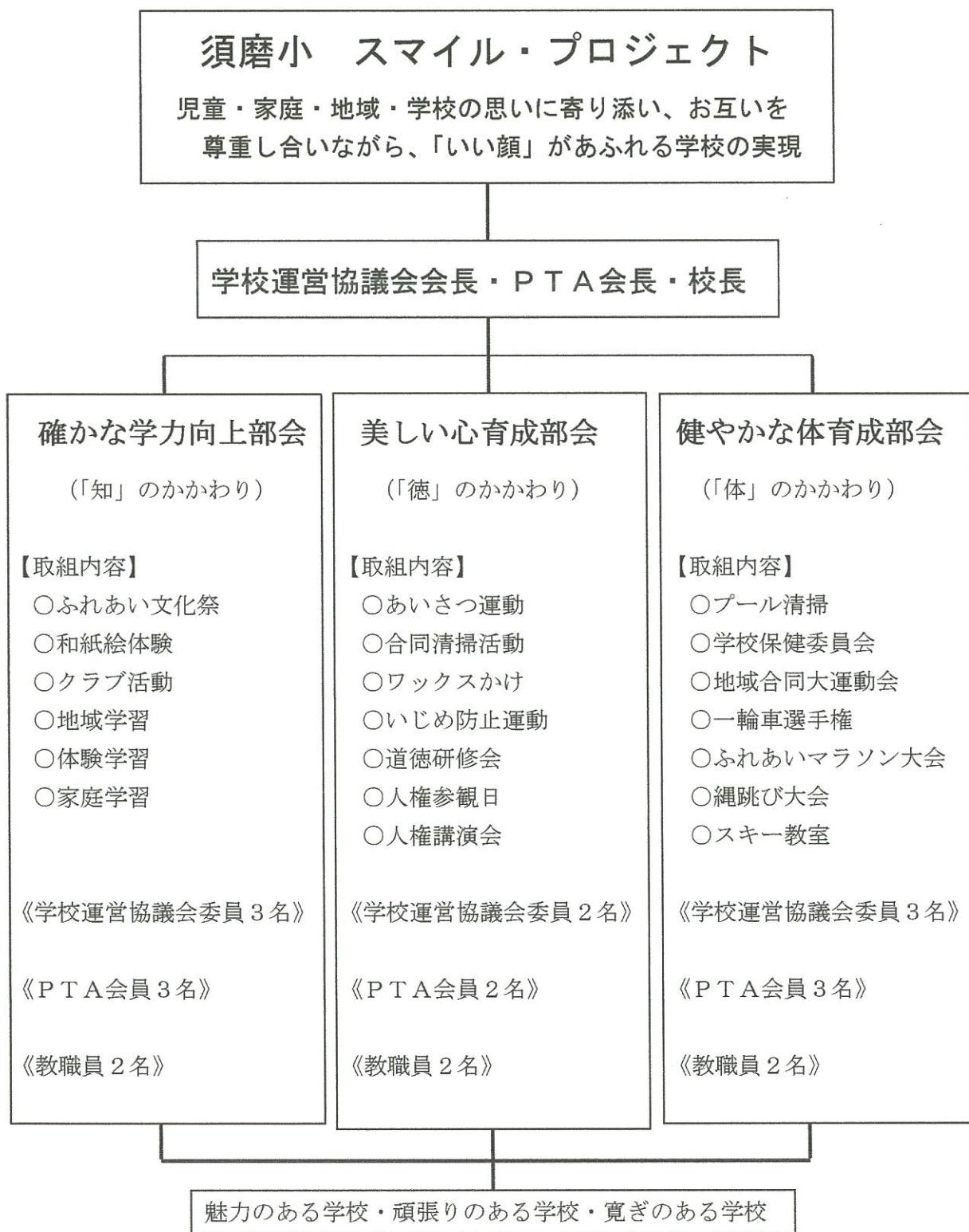
#### 《学校経営の方針》

- 学ぶ喜び、できる喜びが実感できる授業を行い、基礎・基本の確実な定着を図る。
- 授業を中心とした道徳教育の充実を図り、児童の心を磨き育てる。
- 体力増進のための取組を、年間を通じ計画的かつ継続的に行う。
- 学校の特性を生かした体験活動・交流活動を推進し、豊かな心と主体的な学習態度、コミュニケーション能力を育てる。
- 振り返り活動を確実に行い、生活の基盤となる価値ある生活習慣を身につけさせる。
- コミュニティ・スクールとして、地域とのつながりを深める取組を工夫する。
- なめらかな接続の視点から教育活動を見直し、次年度につながる取組を行う。

## 2 PTA（育友会他）の概要

### (1) 組織図

今年度から、PTA組織・学校教職員を、学校運営協議会の3部会にリンクさせて構成している。このことにより、それぞれの組織が連携しながらさまざまな活動に取り組むことができるようになった。



## (2) 平成28年度 事業計画

年間を通じてさまざまなPTA活動がある。学校や地域と連携しながら、支援・援助を行っている。

### 【研修関係】

- 周南市PTA連合会総会参加（5月23日〔月〕）
- スキー教室（2月3日〔金〕）
- 教育講演会の開催（2月19日〔日〕）

### 【保健・補導関係】

- 交通指導・交通安全指導（4月28日〔木〕）
- 校外補導協議会（7月26日〔火〕）
- 救急救命法講習会・学校保健安全委員会（7月1日〔金〕）
- 持久走大会運営（12月8日〔木〕）
- 地域のおじさん・おばさん運動《あいさつ運動》  
（7月11日〔月〕 11月11日〔金〕 1月11日〔水〕）

### 【父親母親委員関係】

- 周南市父親母親委員会への参加（年3回）
- ハートフル人権セミナー（6月14日〔火〕）

### 【地域連携関係】

- なし小袋かけ体験（5月13日〔金〕）
- 須金なし・ぶどう祭（8月27日〔土〕）
- ラジオ体操（夏休み：火・金曜日に実施）
- 地域合同大運動会（10月9日〔日〕）
- ふれあい文化祭・バザー（11月13日〔日〕）

### 【児童体験活動促進】

- 少年消防クラブ夏季研修会参加（7月28日〔木〕～29日〔金〕 1泊2日）
- 交流学習・自然体験活動（学校連携：随時）
- 亀山八幡宮大祭（10月16日〔日〕）
- 周南市消防出初め式（1月5日〔木〕）

## 3 研究テーマについて

### 地域力を活用した児童の「生きる力の育成」

#### （研究テーマ設定の理由）

本校は極小規模校のため、学校外の力（地域、保護者）に支えられている面がたいへん多い。全家庭数が7戸ということもあり、行事等の活動については保護者が毎回全員参加するため、結束も固い。今後もPTA活動の一層の活発化を図るとともに、学校・保護者・地域が一体となって、児童の「生きる力」を育成する取組を続けていきたい。

#### 4 活動内容

##### (1) 地域力を活用した児童の「生きる力」の育成

###### ①なし小袋かけ体験（5月13日〔金〕）

なしを生産しているPTA会員にお願いして、なしの小袋かけの体験をさせてもらっている。学校から歩いて1時間弱のところに果樹園がある。道中は、安全のために学校運営協議会委員さんについてきてもらっている。なぜ小袋をかけるのか、小袋をどれくらいかけるのか等、なし栽培に関わる話をしていただけるので、社会科の勉強としても役だっている。（因みに、1本のなしの木に1000程度の小袋をかけるそうである。）小袋かけを体験したあと、皆でお弁当を食べたり、アーチェリーやトランポリンをさせてもらったりと、有意義な1日を過ごすことができた。



〈作業内容について説明を受けてます〉



〈小袋のかけ方を実際に見せてもらいます〉



〈友達と一緒に協力して小袋をかけていきます〉



〈アーチェリーも体験させてもらいました〉

###### ②プール清掃及び校内環境整備

児童数・家庭数ともに少ない本校は、水泳が始まる前の「プール清掃」に、地域の方が力を貸してください。お年寄りや卒業した中学生や高校生も、道具を持って参加してくれているのでたいへんありがたい。



プールの中だけでなく、周辺にある木々の剪定や、除草もやっていただける。児童はその様子を見て、地域の方が学校を支えてくださっていることを感じることができる。作業が終わったときには、児童全員が一言ずつ感謝の気持ちを伝えることができた。こうした経験を積むことで、「大人になったら今度は自分たちが学校を支えていこう」という思いをもつのではないだろうか。



### ③ラジオ体操



地域によってラジオ体操のやり方に違いがあると思われるが、本校では小学校のグラウンドに、近隣の児童や児童の兄弟、保護者、地域の方が集まって行っている。実施日は、夏休み中の火曜日と金曜日の週2回である。少しでも、人が集まって行うことの意義があると感じている。

### ④須金なし・ぶどう祭



須金なし・ぶどう祭は、須金地区で最大のイベントである。毎年8月の最終土曜日に行われるこのイベントは、6月頃より準備が始まり、地域内の各種団体が協力して企画・運営を行っている。小学校も声をかけていただき、子どもたちに出演の機会をいただいたり、PTAのバザーを出させてもらったりしている。

小学生が出演するのは、「雲海太鼓」と「須金フルーツ・ダンス」の2つである。「雲海太鼓」は年間を通じて練習している活動で、須金の雲海をイメージした勇壮な和太鼓の演目である。「須金フルーツ・ダンス」は、なし・ぶどう祭のイメージソングに振りをつけたもので、かわいらしいダンスで祭を盛り上げている。



子どもたちは、日頃からは考えられないくらい大人数の前で、太鼓をたたいたりダンスをしたりする。さらに、ステージの上で一人ずつがインタビューを受けるのである。大人でもうまくしゃべることができないと思われる状況で、緊張感と闘いながら自分の思いをことばにする。まずは最上級の4年生。そして下の学年に降りていき、最後は1年生。全員がしっかりと問われたことに答えることができた。これがまさに「生きる力」ではないだろうか。大人数の学校だと、代表の子どももしかインタビューを受けることはないだろうが、本校は全員が可能である。低学年の子どもも、上級生の受け答えの様子を見ながらきちんと学習して、自分のことばで述べるのである。このように、祭の舞台が児童の表現力を高めるたいへんよい場となっている。

#### ⑤地区敬老会・デイサービスセンター訪問

毎年9月に「須金地区敬老会」が行われている。敬老会では、「須金フルーツ・ダンス」と「作文」を披露した。子どもたちの躍動する姿で、お年寄りのみなさんに元気を与える。また、おじいちゃん・おばあちゃんへの「作文」で、思いやりの心を伝えている。どちらも好評で、会場は優しい雰囲気に包まれていた。



〈フルーツ・ダンスを披露する子どもたち〉

学校の近くに「デイサービスセンター」がある。ここには学期に1回訪問をし、お年寄りの方々とふれ合っている。訪問する前には、子どもたちにどんなことをしたいかを考えさせている。「肩もみ回転寿司」や「みんなで星座をねらえ」などおもしろい名前のゲームは、お年寄りの方々を笑顔にした。

「ずいずいずっころばし」や「お手玉」等の昔遊びは、子どもたちにも好評で、学校でも友達と一緒に楽しんでいる姿をよく目にした。

多くのお年寄りから、子どもたちはたくさんの「ありがとう」のことばをいただいている。「自分のダンスやことばで、たくさん的人が喜んでくれている」と感じができる。敬老会に参加したり、デイサービスセンターを訪問したりする活動が、児童の「自己有用感」を大きく高めていることはまちがいない。

#### ⑥須金地区小学校・市民合同大運動会



運動会は、地域の方々と一緒にを行っている。児童が単独で行うのは「徒競走」「一輪車演技」「応援合戦」である。団体競技については、保護者や地域の方々といっしょにする。親子で行う「障害物競走」も見ていて非常に楽しい。

特に印象深いのは、地域の人が参加する競技である。職域団体で争う「パン食いリレー」

や、お年寄りの卓越した技術を競う「縄綱（な）い競争」等、全力で取り組む姿を見ると、本気で応援したくなる。出場しておられる方も、楽しんでやっていることがよく伝わってくる。大人が本気で楽しんでいる様子は、子どもたちに元気を与え、「将来、この地域で暮らすのは楽しそうだなあ」と、夢を抱かせることができる。こうした取組が、愛郷心を育てていくと考えられる。



〈揺れるパンは容易に咥えられません〉



〈信じられない速さで縄が伸びていきます〉

#### ⑦グラウンド・ゴルフ大会及び給食試食会

10月のクラブ活動は、地域の方々と一緒にを行う「グラウンド・ゴルフ大会」である。児童と地域の方々と教職員がグループを作り、チーム戦と個人戦で争う。用具を初めて手にする児童もいるが、同じチームの大人に教えてもらいながらやっていくうちに、次第に上手になっていく。力量に合わせた「ハンデ」が一人ずつあるので、かなりの接戦になりたいへん盛り上がった。

グラウンド・ゴルフの後は、参加してくださった地域の方々と給食を食べた。同じチームでテーブルを囲んだので、大会の話に花が咲いた。食後には表彰を行った。手作りの賞状を手にした者は、大人も子どもも皆笑顔であった。

地域からの参加者が少ないかもしれないと思われたが、杞憂であった。子どもたちや地域の方々もふれ合えるこの大会を、今後も継続して実施する予定である。



〈たくさんアドバイスで上達しました〉

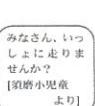


〈チームの入賞をハイタッチで喜びました〉

## (2) 特色ある P T A 活動

### ①「大好き須金 ふれあいマラソン大会」の運営支援

児童だけでは短時間で持久走大会が終わってしまうので、3年前より保護者や地域住民に呼びかけ、マラソン大会の参加者を募っている。また、教職員の数が少なく運営面すべての仕事をこなすことができないので、P T Aだけでなく学校運営協議会委員や民生委員のみなさんにも大会運営のサポートをしていただいている。手伝いの内容は、伴走や受付・ゴール付近での整理、コース警備などの仕事である。児童や選手が走っていると、近所の方々も沿道に立って声をかけてくださる。地域に「元気」を配る、貴重な機会にもなっている。

大好き須金 ふれあいマラソン大会			
須金地区のみなさん！			
			
須磨小学校の持久走大会で小学生といっしょに走りましょう！			
主催：須磨小学校運営協議会・須磨小P T A・須磨小 協力：須金地区民生委員			
1 日 時 平成28年12月8日(木) 9:45~10:30 ※荒天中止(児童の持久走大会のみ12月15日(木)に延期)			
2 場 所 受付・開会式・閉会式 須磨小学校 運動場 持久走大会 須磨地区道路(コースは裏面参照)			
3 日 程 受付・集合 9:30 開会式 9:45 スタート 10:00 閉会式 10:25			
			
4 コース 1・2年の部 約1,000m 3・4年の部 約1,500m			
			
5 その他 ○参加資格は須金地区在住もしくはゆかりの方で、健康な方。 ○コースは選択制。 ○参加費(300円・最低限の保険代、お茶、記録証等)※受付で集めます。 ○参加希望の方は、下記の参加申込書を須磨小学校に届けてください。 <small>[申込み締切 12/1(木)]</small>			
----- キ リ ト リ セン -----			
【大好き須金 ふれあいマラソン大会 参加申込書】			
〔氏名〕	〔男・女〕	〔生年月日〕	〔順・平 年 月 日〕
〔住 所〕	〔電話番号〕		
〔参加希望コース〕	1・2年の部	3・4年の部	(どちらかに○をしてください。)

〈参加申込みのプリント〉



〈緊張した面持ちでスタート待ちます〉



〈沿道の声援が児童に力を与えます〉

### ②ふれあい給食

学校での児童の姿を、いろいろな場面で見てもらうことを実践している。学校にいつ来てもらつても構わないのだが、その中でも特徴的なのは「ふれあい給食」であろう。児童といっしょに昼食をとりたい方は、弁当を持参してもらえばいつでも食べられる。保護者や地域の方にも、給食時間をとおして、学校で行っている「食育」を理解してもらえる大切な時間となる。児童も、誰が来られるのか楽しみにしている。



〈児童・教職員・保護者がランチルームでいっしょに給食(昼食)をとります〉

### ③「PTAスキー教室」の実施

本校からスキー場への距離がそれほど遠くないということで、毎年2月に「スキー教室」を実施している。場所は広島県廿日市市の女鹿平温泉めがひらスキー場である。大型バスを貸し切り、児童全員（11名）・教職員（5名）・PTA会員（12名）・児童の兄弟（4名）合計32名が参加する。

教室には、山口県スキー連盟からインストラクター（1名）に来てもらい、能力別に2クラスに分けて練習する。一方のクラスにはインストラクターが、もう一方のクラスには教職員で教えられる者が指導者としてつく。PTA会員は二手に分かれ、それぞれのクラスのサポートにあたる。児童もPTA会員も、たいへん楽しみにしている活動である。



〈スキー教室事前の打合会〉



〈PTAスキー教室の様子〉



## 5 成果と課題

### （1）成果

児童の「生きる力」は、着実に育ってきている。学校には11名の児童と数名の教職員しかいないので、できることは限られる。しかしながら、地域や保護者の全面的な協力があるおかげで、さまざまな体験ができている。児童に身につけさせたいのは、「コミュニケーション能力」や「自然を感じる心や愛郷心」である。「なし・ぶどう祭り」や「地域合同大運動会・ふれあい文化祭」など、小学生以外の人たちとたくさん関わってことばを交わしていく中で、コミュニケーション能力を高めていく。夏場の「川遊び」や冬の「スキー教室」など、この地域でしかすることのできない自然を体験する活動で、豊かな情操や郷土愛を培うことができる。これからも、保護者や地域の方々と連携をとりながら、より内容の充実した教育活動を開拓していきたい。

### （2）課題

家庭数が少ないため、保護者一人ひとりにかかっている負担はかなり大きい。学校行事の見直しを含め、地域行事への効率的な参加の方法を模索していかなければならない。また、今年度新たな試みとして、PTA組織と教職員を学校運営協議会の3部会にリンクさせて構成した。教職員については、3部会のいずれかに所属することで学校運営協議会への参加意識は明らかに向上した。それに比べると、PTA役員が学校運営協議会といっしょに活動する機会がまだ少ないので、2者の連携という面では課題が残る。今後は、保護者（PTA組織）が学校運営協議会とさらに連携・協働して取り組んでいけるような工夫・改善を行っていく必要がある。